

令和2年度 事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

NPO 法人みやっこベース

1 事業の成果

新型コロナウイルス感染拡大の状況の中で試行錯誤をしながら事業を進める一年となった。オンライン化など形式を変更して実施することができた事業と、中止を余儀なくされたものがある。

「総合的な探究の時間」について、宮古北高校において地域と連携した授業を企画実施した。働く大人を観察し仕事や価値観について理解を深める「ジョブシャドウイング」では、生徒25人が宮古市内16事業所での見学を行った。宮古市内で初めての開催であり、キャリア教育の新たな手法として生徒に加えて多くの事業所から高い満足度を得た。「たろう魅力発信プロジェクト」や「たろう活性化プロジェクト」など、宮古北高校が立地する田老地区の産業や施設、自然を見学することや活躍する大人へのインタビューを通して、自地域肯定感や自己肯定感、発信力を高める教育プログラムを協働実施した。

高校生の地域活動支援として、NHK盛岡放送局主催「TENDEKCO クラブ」の実施協力を行った。東日本大震災から10年を前にして、市内の高校生10人が自ら震災や防災について学び、小学生を対象とした防災学習プログラムを開発、実施するというものであり、防災教育などを主に行うNPO法人プラス・アーツによる講義やワークショップを軸に事業が行われた。地域の大人から震災当時のことや防災の教訓などを聞き取り調査し、小学生の学びにつながるようプログラム設計を行うという過程で、震災や防災に向き合い、教訓を言語化するなど多くの学びを得た。最終的に、磯鶏小学校の全校児童に対して高校生の3つのグループが学年ごとに防災教室を行い、児童の防災減災についての意識を高めた。

全国の大学生を対象とした宮古管内企業での実践型インターンシップ事業をオンライン環境下で行った。夏期、春期の2回で、のべ13社35人の大学生の活動のコーディネートを行った。オンラインでプロジェクトを遂行することで、企業にとってオンラインツールの利活用が進んだほか、企業の理念や事業の目的などを言語化して伝える試行錯誤の機会となった。これらのことから各企業内での若者の雇用・育成環境の整備が進んだ。インターン終了後のOBOGの中から、インターン参加企業での就職を希望する学生が現れたり、首都圏で宮古に関わるプロジェクトを立ち上げるなど、宮古への愛着を持ち今後も様々な形で関わっていくことを希望する関係人口の増加につながった。

20代を中心とする若者を対象に、市内のNPO法人エムジョイとの協力で「スポレク部」を発足し、スポーツを通して交流する機会を創出した。市内のコロナウイルス感染状況を確認しながら週に一回程度の定期的な活動を行い、のべ約150人以上の若者が参加した。

新型コロナウイルスの影響で経済的に不安を抱える宮古市出身学生に対する支援として、宮古市の特産品等活用学生支援事業を受託し、市内特産品などの食品をギフトとして送る「#ウミネコミヤコの潮風便」を実施した。現役学生を含むOBOG5人をプロジェクトチームに招いてギフトメニューやメッセージなどを考案し、学生の心に寄り添ったギフトを709人の学生に届けた。食糧支援という目的に加え、特産品を初めて知る機会となるなど地元を離れた学生と宮古市との関係を再構築するという役割を果たすことができた。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、2016年度より毎年開催していた「みやっこタウン」は開催を

見合わせる事となった。

有限責任監査法人トーマツが運営する「中核人材確保支援能力向上事業」(中小企業庁事業)において、地域の中小企業の経営課題である人材不足、中でも中核人材の確保を戦略的に進めるための支援について、地域ネットワークの主体として参加し今後の在り方について議論を行った。また、実践支援として、市内の企業1社へのヒアリングを通して人材確保の支援を行った。

経営者セミナーについては実施見送りとなった。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	事業費の金額(千円)
青少年育成支援事業	総合的な探究の時間サポート	通年	宮古市内	2名	宮古北高校の生徒83人	300
	高校生地域活動サポート「TENDENKOクラブ」	9月～3月	宮古市内	1名	宮古市内の高校生10人	330
	実践型インターンシップコーディネート	夏期、春期	宮古市内、オンライン	2名	宮古管内企業のべ13社、全国の大学生35人	4,818
	コミュニティ関連事業	通年	宮古市内	2名	宮古市内の若者のべ約150人	13
	子どものまち「みやっこタウン」など子ども支援事業	4月～8月	宮古市内	3名	宮古市内関係団体	100
	ウミネコミヤコの潮風便	6月～12月	宮古市内	9名	宮古出身の学生709人、宮古市内企業42社	2,948
社会環境整備事業	「みやっこハウス」運営事業	通年	宮古市内	2名	のべ約50人	498
	中核人材確保支援能力向上事業	10月～2月	宮古市内	2名	宮古市内企業1社、宮古市内関係機関	90
その他の事業	組織基盤強化	通年	宮古市内	6名	理事、事務局スタッフ	180
	他団体との連絡調整	適宜	宮古市内、オンライン	2名	宮古市内および岩手県内の関係団体	30